

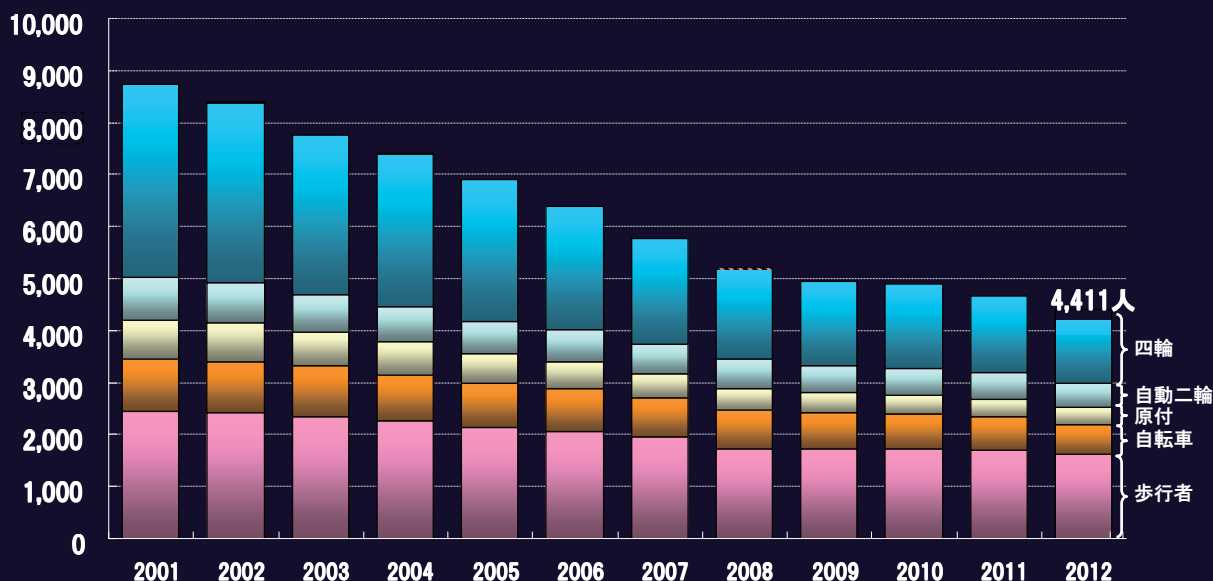
ホンダにおける自動車の安全取り組み

日本の交通事故の発生状況

■政府目標

2010年1月 内閣府特命担当大臣談話
 「2018年を目処に、交通事故死者数を2500人以下、世界一安全な道路交通の実現を目指す」

■交通事故 死者数(24時間以内)



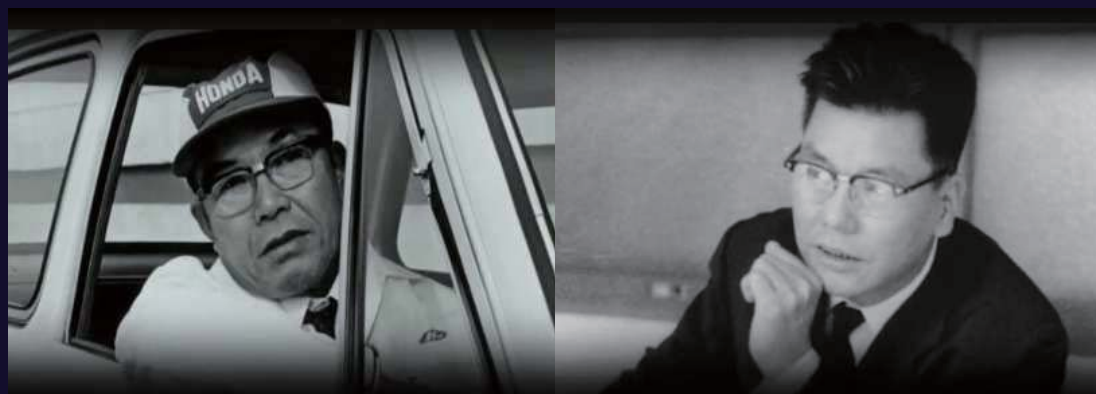
「安全」を更に進化させていくことが必要

Honda グローバル安全スローガン

Safety for Everyone

クルマやバイクに乗っている人だけでなく、道を使うだれもが安全でいられる
「事故に遭わない社会」をつくりたい

創業者の安全への想い



「人命尊重」 「積極安全」

交通機関というものは
人命を尊ぶものである

Honda 安全取り組みの考え方



3つの柱で、相互に連携して「事故ゼロ」モビリティ社会を実現

Honda 安全取り組みの考え方

ヒト
安全教育
「手渡しの安全活動」
～人と人のふれあいの中で学ぶ～
「参加体験型実践教育」
～危険を安全に体験する～

「子ども向け交通安全教室」

安全教育

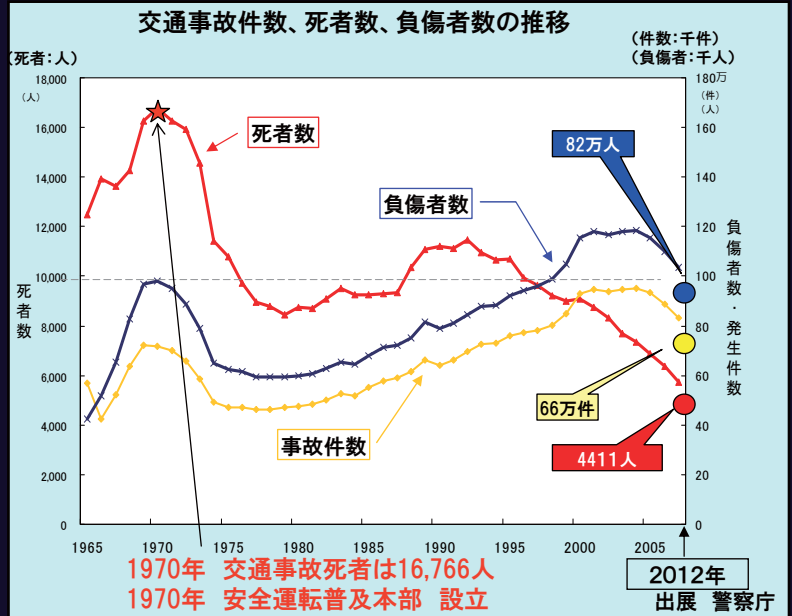
1960年代～ モータリゼーションの発展

モータリゼーションの発展途上で「人」、「車」、「環境」のいずれもが未熟な時代。安全運転の知識や意識、啓発の黎明期であった

◇モータリゼーションの発展

- ・1960年「道路交通法」制定
- ・1963年名神高速一部開通
- ・1965年、四輪車の保有台数が二輪車を追い抜く
- ・1967年、N360発売

1970年 交通事故死者数がピークに



交通事故状況が最悪の時代に、安全運転普及本部を
オールHondaの安全運転普及活動の主幹部門として1970年に設立



安全教育

安全運転普及活動

Hondaの安全運転普及活動、43年目

■生涯教育

幼児・子供教育 中・高・大学生教育 運転者教育 高齢者教育



「危険を安全に体験させる」

積極安全思想

■教育機器



ドライビングシミュレーター ライディングシミュレーター 自転車シミュレーター セーフティナビ

■ソフトウェアの開発 (Honda動画KYT)



KYTポタ

CG動画映像による危険予測能力を高める教育機器

国内の研修参加者、累計約727万人を達成

安全教育

福祉関連安全運転プログラム

身体に障がいをお持ちの方および福祉に関わるドライバーの方々に
安全運転に関する新たな教育ノウハウを開発・提供

自操安全運転プログラム



受講にあたり医師による診断が必要な場合がございます。

移送安全運転プログラム

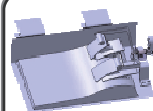


- ・移送中の安全運転ノウハウや注意ポイントが学べる
- ・送迎を利用される方の立場になって体験することで、利用者へ配慮した運転ノウハウを学ぶ

【実施内容】

- ・走行準備・ブレーキ等の感覚
- ・ハンドル操作・バック走行 など

Honda セーフティナビ用 『手動運転補助装置』



下肢に障がいをお持ちで両上肢での運転操作が可能な補助装置

※セーフティナビ用オプション設定

多様化するお客様(社会)ニーズに即した、『場』と『機会』を提供

Honda 安全取り組みの考え方

テクノロジー
安全技術

「無い物は自分で作る」

「規制を基準とせず」



追突軽減ブレーキ

衝突安全技術

エアバッグ

運転席エアバッグ

日本初



トップダッシュマウント
助手席エアバッグ

世界初



二輪用エアバッグ

世界初

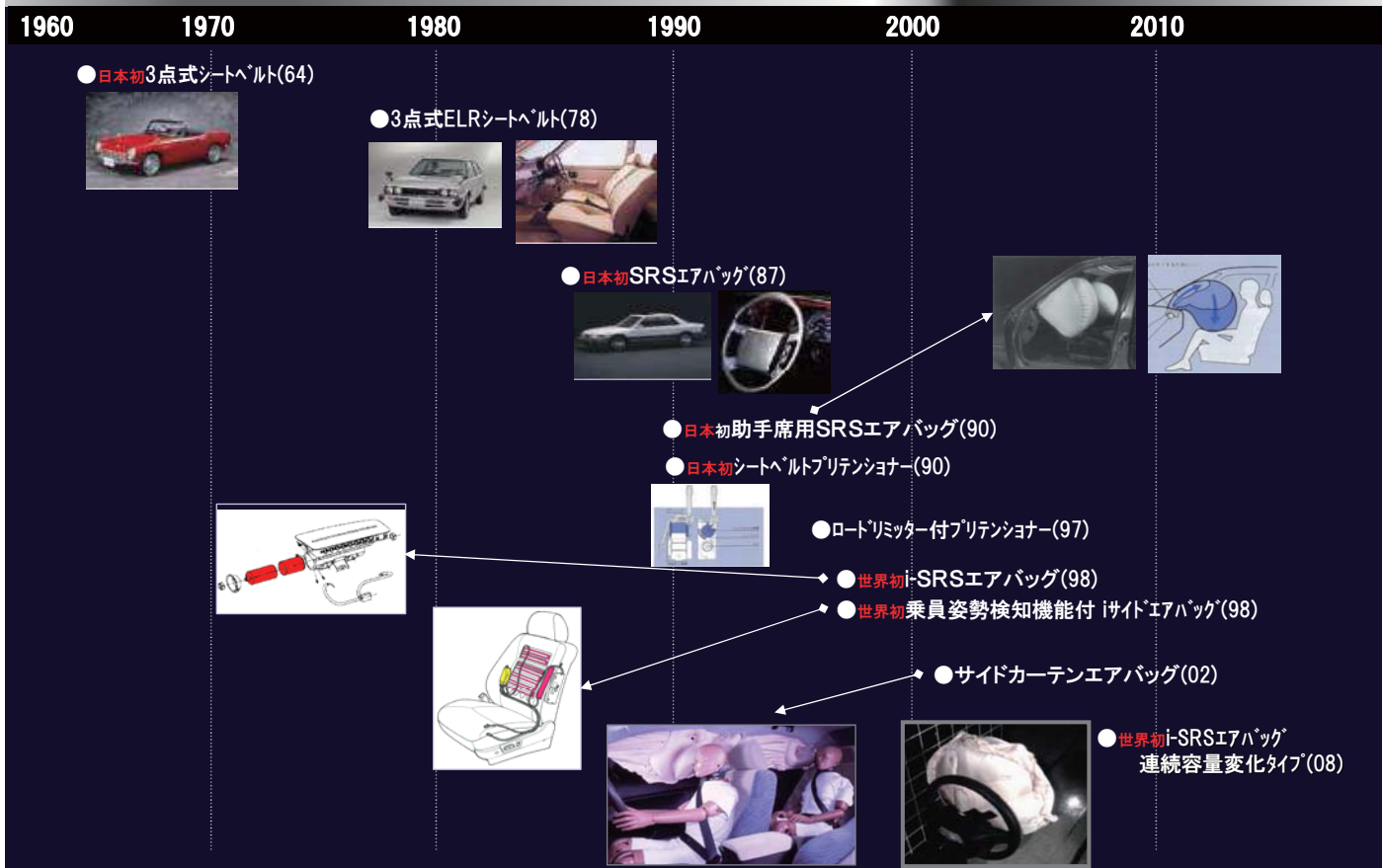


i-SRSエアバッグシステム
連続容量変化タイプ

世界初



ホンダ エアバッグ・シートベルト 技術の歴史



ホンダ エアバッグ 乗員に優しい技術の歴史

【ホンダのエアバッグ開発の根底を流れる思想】

全てのお客様に喜ばれる、「あって良かった」と思っただけのシステム。
(衝突事故という緊急事態でも、救命だけに留まらず**お客様のリスクを最小限**にする技術)

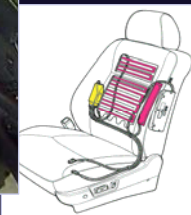
人に優しい



《トップダッシュマウント方式 (助手席エアバッグ)》
乗員側に直接展開しない方式



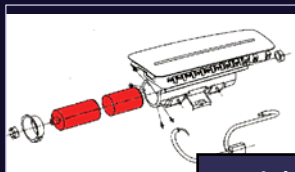
《SAB用・OPDS》
エアバッグの展開軌跡上に乗員の頭部があるときエアバッグの作動を停止



《SCAB》
乗員に向かって直接展開しない (窓に沿った展開モードをチューニング)

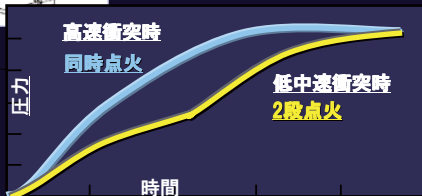


人に優しい技術の例



《iSRS》
必要以上の速度で開かない (低速衝突時はゆっくり開く)

助手席
⇒運転席へ拡大



《iSRS (連続容量変化タイプ)》
乗員方向への展開飛出しを抑え、横方向には早く開く